

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 486

小型潜水艇の前にて、NEEMO16 訓練中の (左から) 油井、ティモシー・ピーク両宇宙飛行士とサポートダイバー (出典: JAXA/NASA)

トピックス

油井宇宙飛行士、海底にて NEEMO16 訓練本番奮闘中！ 記者会見も実施

油井宇宙飛行士ら第 16 回 NASA 極限環境ミッション運用 (NEEMO16) 訓練参加者は、フロリダ州キー・ラーゴ沖の海底研究施設「アクエリアス」を拠点として、引き続き NEEMO16 訓練を行っています。

海底生活 2 ～ 4 日目、油井宇宙飛行士らは小惑星探査を模擬した船外活動を実施しました。海底生活 5 日目にはアクエリアス内で緊急事態対処訓練を行い、海底生活 6 日目からは再び小惑星探査を模擬した船外活動を開始しています。

海底生活 7 日目、油井宇宙飛行士はアクエリアス内と JAXA 東京事務所とをつな

いで行われた記者会見に参加しました。

油井宇宙飛行士は NEEMO16 訓練の概要説明や訓練参加者の紹介を行った後、報道関係者からの質問に対し、実際に船外活動を行って感じたことや仲間たちとのチームワーク、小惑星探査に向けた手応えなどについて答えました。

NEEMO16 訓練では、科学実験コンテスト「海底での実験結果を予測しよう！」を 6 月 21 日まで開催しています。詳細はホームページをご覧ください。特殊な高圧環境で行われる様々な実験結果の予測に挑戦してみたいかどうか。



油井宇宙飛行士による記者会見の様子 (出典: JAXA)

Website info

海底での実験結果を予測しよう！

<http://iss.jaxa.jp/astro/yui/neemo16/science/>

油井宇宙飛行士の宙(そら)亀日記～今は海亀編～

<http://iss.jaxa.jp/astro/yui/neemo16/news/>

油井宇宙飛行士 Twitter

https://twitter.com/Astro_Kimiya

インフォメーション

7 月 4 日 (水) 開催「JAXA シンポジウム 2012 in 東京」参加者募集中！

JAXA シンポジウム 2012 in 東京「宙から見る、宙をつかう」をメルパルクホール東京 (東京都港区) にて開催します。本シンポジウムの第一部では、第一期水循環変動観測衛星「しずく」についてご紹介

します。第二部では野口宇宙飛行士が登場し、宇宙環境の特徴や宇宙飛行士の役割などを星出宇宙飛行士のミッション紹介を交えながらご紹介いたします。

参加は無料ですが事前申込みが必要で

す。詳細はホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

JAXA シンポジウム 2012 in 東京

「宙(そら)から視(み)る、宙(そら)をつかう」

<https://www.science-event.jp/jaxasympo2012/>



Hair 実験のサンプル採取、実験装置のメンテナンス作業などを実施

6月14日、「長期宇宙滞在宇宙飛行士の毛髪分析による医学生物学的影响に関する研究」(Hair)の一環として、宇宙飛行士の毛髪の採取を行いました。

この実験では、環境から受けるストレスに敏感に反応する毛髪のサンプルを採取して地上へ回収し、毛幹の微量元素含有

量、および毛根部の細胞に含まれる遺伝子やタンパク質などの変化などを調べることで、宇宙環境が人体に与える影響を評価し、宇宙飛行士の健康管理に役立てることを目的としています。

そのほか、「きぼう」日本実験棟船内実験室では、6月13日に多目的実験ラック

(MSPR)のメンテナンス作業を、6月14日には流体実験ラックの流体物理実験装置(FPEF)のメンテナンス作業を実施しました。

Website info

「きぼう」での実験(各実験の詳細はこちら)
<http://iss.jaxa.jp/kiboexp/>



軌道上ではクルーの帰還に向けた準備を開始、地上では次のクルーが準備中

第30次/第31次長期滞在クルーのコノネンコ、カイパース、ペティット宇宙飛行士は、ソコル宇宙服の点検など、地上への帰還に向けた準備を開始しています。コノネンコ宇宙飛行士らは、ソユーズ宇宙船(29S)に搭乗して、7月1日に地上へ帰還する予定です。

コノネンコ宇宙飛行士らの帰還後、第32次/第33次長期滞在クルーの星出、サニータ・ウィリアムズ、ユーリ・マレンチェンコ宇宙飛行士を乗せたソユーズ宇宙船(31S)が打ち上げられる予定です。

星出宇宙飛行士らは、ロシアのガガーリン宇宙飛行士訓練センター(GCTC)にて、ソユーズ宇宙船およびISSのロシアモジュールに関する打上げ前最後の集中

訓練(飛行前訓練)をバックアップクルー3名とともに完了した後、6月19日から20日にかけて、最終閉門となるそれぞれ1日がかりのシミュレーション試験に臨みます。この最終試験に合格すると、ロシア連邦宇宙局(FSA)により、31S搭乗クルーとして正式に承認されます。

最終試験に合格した後、星出宇宙飛行士らはモスクワにて短い休暇の取得や伝統的なセレモニーへの参加、医学検査などを行います。その後、カザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地へ移動して、打上げに向けた最終準備段階に入る予定です。星出宇宙飛行士らの搭乗するソユーズ宇宙船(31S)は、7月15日の打上げを目標としています。



星出(左)宇宙飛行士第32次/第33次長期滞在クルー(出典: JAXA/GCTC)

Expedition 31 Crew

ISS滞在 178 日経過

オレグ・コノネンコ(コマンダー、ロシア)
 アンドレ・カイパース(ESA)
 ドナルド・ペティット(NASA)

ISS滞在 33 日経過

ゲナディ・パダルカ(ロシア)
 ジョセフ・アカバ(NASA)
 セルゲイ・レヴィン(ロシア)

Website info

星出宇宙飛行士長期滞在
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/hoshide/

more information



- ▶ 平成24年度「きぼう」利用テーマ募集中、一般募集に加え重点課題募集も(応募締切り6月29日(金))

http://iss.jaxa.jp/kiboexp/application/2012_kibo-utilization-theme.html

JAXAは、「きぼう」日本実験棟の平成26年度(2014年度)以降の利用期間における実験提案を募集しています。詳細はホームページをご覧ください。「きぼう」の利用環境を最大限に活用し、科学技術の向上、産業・社会などに波及効果の大きい成果の創出などを目指したご提案をお待ちしております。

- ▶ 「第10回航空機による学生無重力実験コンテスト」参加者募集中!(応募締切り7月30日(月))

http://iss.jaxa.jp/topics/2012/06/parabolic10_application.html

本コンテストは、学生の皆様から無重力(微小重力)環境で実施したい実験のアイデアを募集し、選定されたチームが自ら実験装置を製作し、実際に航空機に搭乗して実験を行うものです。提案内容に制限はありません。詳細はホームページをご覧ください。多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

- ▶ SPACE@NAVI-Kibo WEEKLY NEWS http://iss.jaxa.jp/library/video/category/WEEKLY_NEWS

「きぼう」やISSの最新情報を映像でお届けするウィークリービデオニュースはこちらをご覧ください。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第486号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
 ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> お問い合わせ <https://ssl.tksc.jaxa.jp/iss/help/>
 ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。